

(その 92) 一枚のチラシから「安全な住まい」の確保へ (2013.05)

2月中旬日進町に住むIさんという人からマンションのポストに入っていたチラシを見て電話相談がありました。

相談の内容は、横須賀市に家を作ったが基礎工事に手抜きが有り県の担当者に業者名を告発し調査と調整をお願いしました。最初は中立の立場で対応してくれましたが、だんだん業者よりになって困っている。その職員は今年の3月で定年になるので県会議員を紹介して欲しいというものでした。

所長は知り合いのS議員を紹介しました。その議員は建設関係が専門で詳しく調べ親切に相談に乗ってくれましたが、Iさんの思ったような結果にならず、再度別の人を紹介するという事になりました。

つながりをたどって

考えた末、日本共産党県政担当の平野さんに相談し、Iさんから詳しく聞いてもらったところ、議員ではなく家の傾きなどを検査する建築士を紹介したほうがいいのではということになり、横須賀北部建職から紹介された横須賀建築士組合の組合長であるY設計事務所を紹介しました。Yさんはすぐに対応して下さり無事解決することができました。

Iさんから次のような手紙が届きました。「先日はいろいろお世話になりました。見ず知らずの私に大変親身になり相談に乗って下さった事大変感謝しております。本当に助かりました。ありがとうございました。皆様とてもご親切にしてくださいました。」と嬉しい便りですのでそのまま紹介させていただきました。